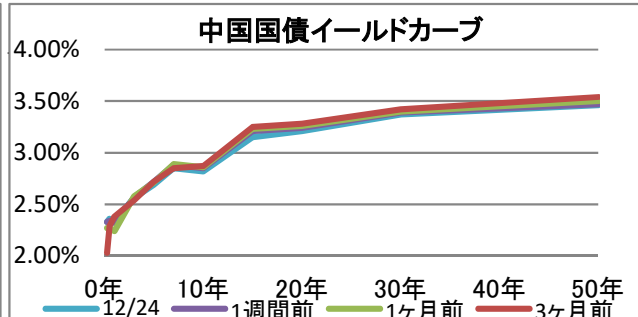
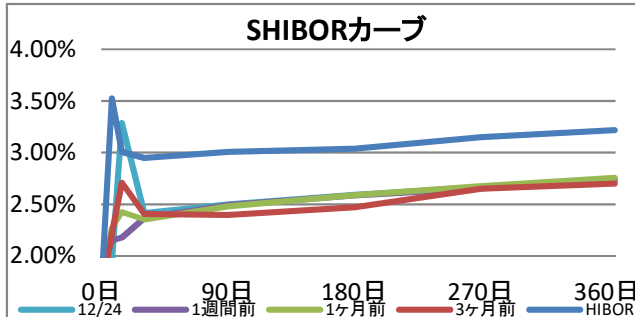


①市場概況

基準レート		2021/12/24	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.3692	+0.0041
	JPY/CNY	5.5639	-0.0331
SHIBOR	3M	2.5000%	+0.0080%
国債利回り	10年	2.82%	-0.03%
上海総合指数		3,618.05	-14.31



(1) 概況

国際金融市場は、クリスマスを前に市場参加者が減少する中、オミクロン株感染拡大への懸念によるリスクオフから経口治療薬使用認可による懸念後退でリスクオンに転じる展開となった。株式市場では週初に感染拡大により下落した後、クリスマス休暇前の買戻しと経口治療薬への期待から上昇に転じ、債券市場は下落に転じる中、為替市場ではドルがやや弱含む展開となっている。

中国金融市場では、市場参加者が減少する中、株式市場は中国政府の不動産支援姿勢や中国人民銀行の小幅利下げにより底堅く推移していたものの、国内でのCOVID-19感染拡大への懸念から下落に転じ、債券市場はしっかり（利回り低下）となり、外為市場では当局の元高阻止姿勢を意識した膠着状況が続いている。

中国では、李首相が国务院常務会で切れ目のない経済政策と国際貿易の安定した発展の推進に言及する中で、人民元相場の安定と貿易関連企業のリスクヘッジツールとして銀行に先物為替サービスの提供を奨励し、香港行政長官との面談においては一国二制度と香港の高度自治方針を継続し、香港の金融および貿易航空のセンターとしての地位向上への支援を改めて表明している。香港政府は退職年金積立資金を中国の国債と政策金融債に投資を可能とする法令改正計画を明らかにしている。中国人民銀行は週初にLPR（1年）を引き下げ、重慶・四川での西部金融センター建設計画を明らかにし、証監会は中国企業の国外株式市場上場についてパブコメ募集を開始し、対外開放政策や国外上場容認姿勢に変わりがないとしている。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日500億元に対し、新規のリバースオペにより1,000億元の資金供給を実施し、500億元を供給している。

(3) 主な経済指標

特になし。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レボ	NCD AAA
ON	1.8400%	1.6000%	2.0000%	
1W	1.9430%	6.0000%	2.0000%	
2W	3.2880%	3.2900%	4.6000%	
1M	2.4160%	2.8000%	6.5000%	2.7900%
3M	2.5000%	4.2000%	3.0000%	2.6700%
6M	2.5920%	2.7920%		2.6800%
9M	2.6630%			2.7050%
12M	2.7370%	3.6000%		2.7350%

年末越え資金調達が一服したことや週初に中国人民銀行がLPRを引き下げたこともあり、市場は総じて安定推移。ターム物は1ヶ月の2.75%前後での出合いを除き限定的。

NCDも、年末越え資金需給の改善や金融緩和期待を背景に、投資家から長めの期間に積極的な買いが入り活発に取り引されている。ターム物の金利水準は、1ヶ月は2.70%～2.80%、3ヶ月は2.65%～2.70%、6ヶ月が2.70%前後、1年が2.75%前後に小幅上昇。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	0.03%	0.04%
1W	0.05%	0.06%
1M	0.10%	0.12%
3M	0.30%	0.35%
6M	0.40%	0.45%
12M	0.45%	0.50%

これまでの国外からの外貨資金流入による需給の緩みが年末要因や金融引き締め懸念、外貨預金準備率の引き上げ等により引き締め、金利水準は高止まっているものの、総じて安定している。ターム物の金利水準は、1ヶ月が0.10～0.15%、3ヶ月は0.30%前後、6ヶ月は0.40%前後で推移している。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.33%	2.38%	2.61%	2.74%	3.05%
6M	2.36%	2.43%	2.66%	2.75%	3.06%
1Y	2.34%	2.50%	2.71%	2.79%	3.10%
3Y	2.56%	2.75%	2.89%	2.98%	3.73%
5Y	2.69%	2.96%	3.22%	3.33%	4.19%
10Y	2.82%	3.24%	3.55%	3.71%	4.62%

債券市場では、足下資金需給の改善や金融緩和期待があるものの、国内でのCOVID-19感染拡大懸念やクリスマスと年末を控え、国内勢の短期債資金化と国外投資家による中長期の利率債投資の動きが続いている。

イールドカーブは、中長期の利率債を中心とする利回り低下により総じて一段とフラットニングが進み、クレジットスプレッドは拡大に転じている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	74.0 / 76.0
1M	168.0 / 169.6
3M	458.0 / 462.9
6M	848.0 / 854.0
9M	1205.0 / 1215.0
12M	1557.0 / 1564.0

対ドル基準レートは6.3692と前週末比+41pipsのドル高元安、対円基準レートは5.5639と同-331pipsの円安元高と、対ドルでは概ね前週末と同水準。国内市場では、年末に向けた企業の外貨売りも一巡し、当局の人民元高懸念や米中の金融政策の方向性の違いもあってドル高期待が高まっているものの、国外投資家からの資金流入は続いており、6.37を挟んだ小幅な値動きが続いている。

先物は、中国国内の年末資金手当てが一服したことも手伝い金利差縮小への期待や中国大手銀行からオファーが入ったこともあり、スワップ幅は1年物が1600台を割り込んで1500台半ばの本年7月の水準まで縮小している。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.27%		2.09%
6M	2.26%	2.50%	2.10%
9M	2.26%	2.51%	2.10%
1Y	2.26%	2.53%	2.13%
3Y	2.42%	2.80%	2.33%
5Y	2.62%	3.05%	
7Y	2.76%	3.22%	
10Y	2.90%	3.39%	

スワップ金利は、利率債利回りが低下したことから、短期から長期まで概ねパラレルに小幅低下している。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも小幅ながら縮小が続いている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入